

——人や社会と共生するシステムを実現する
ネットワークソフトウェア論文特集号

(和文論文誌 B) 論文募集——

人や社会と共生するシステムを実現する
ネットワークソフトウェア論文特集編集委員会

この一年で通信サービスが“人と人のつながり”や“人や社会とのつながり”を実現できることを改めて認識させられました。例えば、災害時での twitter による情報収集、Facebook や mixi などの SNS を用いた友達作り、スマートフォン、センサを用いた見守りサービスなどが現実のものとなっています。またビジネスの世界では、クラウドコンピューティング、M2M などの技術が検討され、通信サービスが“これからの社会”の実現の原動力になることが更に期待されています。

通信ソサイエティにおいても、このような人と人、あるいは人と社会の共生の推進を、通信システムがどのように実現していくかの課題について、ネットワークシステムや情報ネットワーク等の第一種研究会はもとより、ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会においても活発に議論が進められています。例えば、サービスのアイデアを早く実現するための手法、“漠然とした不安”を取り除くためのセキュリティ技術、安定したサービス提供のためのシステム設計手法、サービス実現のための新しい方法論などが課題として考えられます。このようなサービスを広く確実なものとするために、ネットワークとネットワークソフトウェア技術の応用によるサービスの設計、開発、評価、運用など技術的課題を研究・技術者間で共有し、これまでのシステム開発のための検討で得られた知見を広く共有することが求められます。このような背景を踏まえ、人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア論文特集号(平成 25 年 8 月号)を企画しました。本特集では、ネットワークソフトウェアに関連する分野について、理論・実験に関するものはもとよりシステム開発に関する論文を広く求めます。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

[ネットワークサービスソフトウェア技術]

以下に列挙するネットワークサービスを実現するためのソフトウェア技術：Socio-Familiar Personalized Service (S-P サービス)、ユビキタスサービス、クラウドコンピューティング、プレゼンス・コンテキストウェアサービス、グループウェア、VoIP (Voice over IP)、通信放送融合、Web サービス、サービス指向アーキテクチャ、サービス連携、コンテンツ配信、ソフトウェア定義ネットワーク、ソーシャルウェア、マルチメディアストリーム、人と機械の共生、M2M (Machine to Machine)、SNS (Social Network Service)、RFID (Radio Frequency Identifier) 応用サービス

[ネットワーク制御管理ソフトウェア技術]

以下に列挙するネットワーク制御管理技術を実現するためのソフトウェア技術：SIP (Session Initiation Protocol)、QoS (Quality of Service) 制御、トラフィック制御、Bandwidth On Demand、ネットワーク品質、ネットワーク管理、ポリシー管理、ネットワークオペレーション、移動管理

[ネットワークソフトウェア基盤技術]

以下に列挙するネットワーク基盤を実現するためのソフトウェア技術：ポスト NGN、NGN、オーバレイネットワーク、P2P ネットワーク、SDP (Service Delivery Platform)、モバイルネットワーク、LTE (Long Term Evolution)、第 4 世代携帯電話、FMC (Fixed Mobile Convergence)、アドホックネットワーク、ホーム ICT、オフィス ICT、センサネットワーク、クラウドネットワーク、CDN (Content Delivery Network)、PAN (Personal Area Network)、DRM (Digital Rights Management)、セキュリティ、認証、VPN (Virtual Private Network)、マルチキャスト、IPv6、ネットワークミドルウェアソフト

[ソフトウェア要素技術]

上記ネットワーク基盤・サービス・制御管理技術を実現するソフトウェアに関する要素技術：オブジェクト指向、アスペクト指向、リファクタリング、モデル駆動アーキテクチャ、コンポーネント指向、リアルタイムソフトウェア、高信頼ソフトウェア、高可用ソフトウェア、オープンソースソフトウェア、ネットワーク仮想化、自己組織化、オープン API、分散オブジェクト、分散処理プラットフォーム、通信プログラム言語、通信 OS (Operating System)、スクリプト言語、セキュア OS、セキュアプログラミング、エージェント、プログラマブルネットワーク、ソフトウェア発展機構、オントロジー

[ネットワークソフトウェア開発管理技術]

上記ネットワーク基盤・サービス・制御管理技術を実現するソフトウェア開発管理技術：ソフトウェア品質保証、仕様記述、仕様検証、開発環境、開発手法、試験技術、設計パラダイム、アジャイル開発、テスト駆動開発、ネットワークソフトウェア性能測定・性能向上技術

[その他のネットワークソフトウェア技術]

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切日：平成 24 年 11 月 20 日 (火) 厳守

最終判定予定：平成 25 年 4 月中旬

発行月：平成 25 年 8 月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日まで学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日まで学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができます。

で、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
E-mail : wabun-b@ieice.org FAX [03] 3433-6616

5. 特集編集委員会

委員長 水野 修 (工学院大)
編集幹事 末田欣子 (NTT), 宮本大輔 (東大)
編集委員 伊藤 篤 (KDDI 研), 太田 理, 角田良明 (広島市大), 加藤 圭 (OKI), 北方 元 (東北大), 中村光宏 (富士通), 新津善弘 (芝浦工大), 三宅優 (KDDI 研), 若原 恭 (東大)

6. 問合せ先

末田欣子 (NTT ネットワーク基盤技術研究所)
E-mail : sueda.yoshiko@lab.ntt.co.jp
TEL [0422] 59-3036, FAX [0422] 59-6364

——ヒト・モノ・データをつなげる

インターネットアーキテクチャ特集号

(和文論文誌 B) 論文募集——

ヒト・モノ・データをつなげるインターネット
アーキテクチャ特集編集委員会

インターネットは現代社会における様々な活動を支える重要な基盤としてなくてはならない存在となり、従来の通信網では実現困難な可用性や新規サービスの迅速な提供に大いに貢献しています。特に、最近では SNS (ソーシャルネットワークサービス) やスマートフォンの急速な普及により、ネットワークを介したヒトとヒト、あるいはヒトとモノのつながりが重要になってきています。その一方で、クラウドサービスやサイバーフィジカルシステムなどを利用した、個人や企業が多様かつ大量のデータを利用できる環境が整いつつあり、これによって社会全体の発展をもたらす技術の開発が望まれています。このように、ネットワーク技術自体の進化に加えて、ヒト・モノ・データをつなげる技術に関する議論が必要になってきています。

このような状況を踏まえ、本特集号 (平成 25 年 10 月号) では、インターネットの基本設計や設計思想につながる基盤技術、運用技術、更には新しい技術の展開に関する論文に加えて、新しいアプリケーションやネットワークを活用した社会システムなど、ヒト・モノ・データをつなげるインターネットアーキテクチャに関する論文 (一般、システム開発論文、及びレター) を募集します。皆様の積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

- ・ネットワークアーキテクチャ技術
- ・セキュリティ技術
- ・アプリケーション技術
- ・実装・応用技術
- ・ミドルウェア技術
- ・プロトコル技術
- ・ルーティング技術
- ・トラフィック制御技術
- ・サステナビリティ技術
- ・ディペンダビリティ技術
- ・システム仮想化技術
- ・ホームネットワーク

- ・センサネットワーク
- ・モバイルデバイス活用技術
- ・コミュニケーション技術
- ・情報・コンテンツの拡散・流通技術
- ・遅延・分断耐性ネットワーク (DTN)
- ・省電力ネットワーク技術
- ・ネットワークを活用した省電力化技術
- ・医療・ヘルスケア応用
- ・ITS 応用
- ・計測・管理・運用技術
- ・サイバーフィジカルシステム
- ・Internet of things
- ・システムの迅速な導入・展開に関する技術
- ・シームレスなシステム移行技術
- ・クラウドサービス

2. 論文の執筆と取扱い

・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切日：平成 25 年 1 月 31 日 (木) 厳守
初回判定通知：平成 25 年 3 月中旬を予定
最終判定通知：平成 25 年 6 月中旬を予定
発行月：平成 25 年 10 月号

4. 問合せ先

山井成良 (岡山大学情報統括センター)
〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244
E-mail : yamai@cc.okayama-u.ac.jp

5. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
FAX [03] 3433-6616 E-mail : wabun-b@ieice.org
郵送時、封筒に「インターネットアーキテクチャ」特集号と朱記して下さい。

6. 特集編集委員会

編集委員長 福田健介 (NII)

編集幹事 山井成良 (岡山大), 義久智樹 (阪大)

編集委員 白井 健 (NICT), 近堂 徹 (広島大), 中村素典 (NII), 福本昌弘 (高知工科大), 三宅 繁 (日立), 宮地利幸 (NICT), 柳生智彦 (NEC), 山本成一 (東大), 山本 寛 (長岡技科大), 吉田健一 (筑波大)

——並列分散コンピューティングと ネットワーク小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

並列分散コンピューティングと
ネットワーク小特集編集委員会

近年, システムの大規模化や高度化, ネットワーク利用の拡大や複雑さの増大に伴い, 並列分散コンピューティングの重要性はますます高まっています。VLSI 技術やネットワーク技術の発展に伴ってこの研究分野のカバーする対象領域は年々拡大しており, 学界のみでなく, 将来の産業界においても重要な役割を果たすことが期待されています。2012 年 12 月に沖縄で開催される ICNC'12 や関連する国際会議の発表者・参加者, 関連研究に携わる方々に広く投稿を呼びかけ, この分野における最新の研究動向を集めることを目的に「並列分散コンピューティングとネットワーク」小特集号 (平成 25 年 12 月号) を企画しました。本小特集では, 並列分散コンピューティングとネットワークに関する論文を広く募集します。並列分散コンピューティングに係る有用な手法の提案に加え, 具体的なシステムの実装に係るシステム開発論文なども歓迎致します。

1. 対象分野

- 並列・分散アルゴリズムとその応用 (高性能計算, 画像・グラフィックス処理, データマイニング, マルチコア・アクセラレータ利用計算, クラスタ計算, ネットワークアルゴリズム, グリーンコンピューティング, シミュレーションと可視化, 性能モデルと評価など)
- 並列・分散システムとアーキテクチャ (並列・分散システム, クラスタ, グリッド, 並列ストレージシステム, ネットワークオンチップ, ネットワークアーキテクチャ, 高性能インタコネクタなど)
- 分散システムとネットワーク (ユビキタス計算, P2P ネットワーク, ワイヤレスネットワークとモバイル計算など)
- 並列・分散ソフトウェア (オペレーティングシステム, ミドルウェア, ツール, 並列プログラミングモデルと言語, 分散エージェント技術, Web サービスとインターネットコンピューティング, クラスタ・グリッド・クラウドの資源管理とスケジューリングなど)

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。小特集号であることから, 査読後の再提出期間 (通常 60 日) を短縮することがあります。また, 論文採録の場合は, 掲載別刷代が必要となりますので御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 12 月 25 日 (火)

4. 投稿方法

投稿は, 本会電子投稿システム https://review.ieice.org/regist_e.aspx による電子投稿とします。なお登録時には必ず "Type of Issue (Section)/Transactions" で [Special-ED] Parallel and Distributed Computing を選択して下さい。[Regular-ED] や他の特集号を選択されませんよう御注意下さい。仮登録用紙と著作権譲渡承諾書は印刷して下記問合せ先へ平成 25 年 1 月 11 日 (金) までに, 電子メール, FAX, 郵便のいずれかにてお送り下さい。

5. 問合せ先

緑川博子 成蹊大学理工学部情報科学科

〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

TEL [0422] 37-3773, FAX [0422] 37-3871

E-mail : midori@st.seikei.ac.jp

6. 小特集編集委員会

編集委員長 天野英晴 (慶大)

幹事 井上浩明 (NEC), 藤原暁宏 (九工大), 緑川博子 (成蹊大)

委員 安里 彰 (富士通), 荒川 豊 (九大), 泉 泰介 (名工大), 市川周一 (豊橋技科大), 井口 寧 (北陸先端大), 片山喜章 (名工大), 北須賀輝明 (熊本大), 鯉淵道紘 (NII), 笹部昌弘 (阪大), 塩谷亮太 (名大), 柴田裕一郎 (長崎大), 新熊亮一 (京大), 田頭茂明 (関西大), 竹房あつ子 (産総研), 中田秀基 (産総研), 藤田 聡 (広島大), 松澤照男 (北陸先端大), 森野博章 (芝浦工大), 山内利宏 (岡山大), 山口弘純 (阪大), 横田隆史 (宇都宮大), Jacir Luiz Bordim (ブラジリア大)

7. 重要なお知らせ

* 採録が決まった論文等の著者 (招待論文も含む) には, 最終原稿の提出方法に応じて掲載別刷代が必要となります。この掲載別刷代には, 別刷 50 部が含まれています。

* 投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい:
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——ディペンダブルコンピューティング小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

ディペンダブルコンピューティング小特集編集委員会

本小特集号は, 新潟において, 2012 年 11 月 18 日~19 日に開催される「The 18th Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing」, 2012 年 11 月 19 日~22 日に開催される「The 21st Asian Test Symposium」, 及び 2012 年 11 月 22 日~23 日に開催される「The 13th Workshop on RTL and High Level Testing」での発表論文を主体に「ディペンダブルコンピューティング」の分野の論文を募集致します。安心・安全な情報社会を実現するためには, 情報システムを構成するハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの品質・信頼性を測定・評価・管理する技術, 及びハードウェアのテスト・検証に関する技術を確立することは重要となります。そこで, 今後のディペンダブルコンピューティングに関する研究の一層の躍進を目的とし, 本小

特集号（2013年9月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

ハードウェア・ソフトウェア信頼性、ネットワーク信頼性、モデリング・評価、計測・実証、耐故障システム、設計とアルゴリズム、安全性、情報セキュリティ、テスト生成、アナログ/ミックスドシグナルテスト、組込み自己テスト、テスト容易化設計、設計検証、Defect-Based Testing、遅延テスト、故障診断、故障モデル、故障シミュレーション、オンラインテスト、System-on-a-ChipTest、テスト圧縮、テスト品質、ハイレベルテスト生成、RTLテスト生成

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-ED] Dependable computing を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送

付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2012年12月28日(火) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

土肥 正 広島大学大学院工学研究科情報工学専攻
〒739-8527 東広島市鏡山一丁目4番1号
TEL [082] 424-7698, FAX [082] 422-7025
E-mail: dohi@rel.hiroshima-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

編集委員長: 高橋 寛 (愛媛大)
幹事: 土肥 正 (広島大)
幹事補佐: 細川利典 (日大), 市原英行 (広島市大)
編集委員: 井上智生 (広島市大), 井上美智子 (奈良先端大), 大竹哲史 (大分大), 岡村寛之 (広島大), 梶原誠司 (九工大), 金川信康 (日立), 北神正人 (千葉大), 土屋達弘 (阪大), 中尾教伸 (ルネサスエレクトロニクス), 中村 宏 (東大), 橋爪正樹 (徳島大), 浜口清治 (阪大), 樋上喜信 (愛媛大), 福本 聡 (首都大東京), 三浦幸也 (首都大東京), 横田治夫 (東工大), 米田友洋 (NII)

7. 付記

- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷50部含む) が必要となります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——各種証明、閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明、閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種類	内容	料金 (税込)	備考
証明手数料	特許証明	会員 200円/件 非会員 500円/件	
	在会証明書	無料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会員 無料 非会員 300円/冊 コピー 10円/枚	料金は1冊(綴)ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。